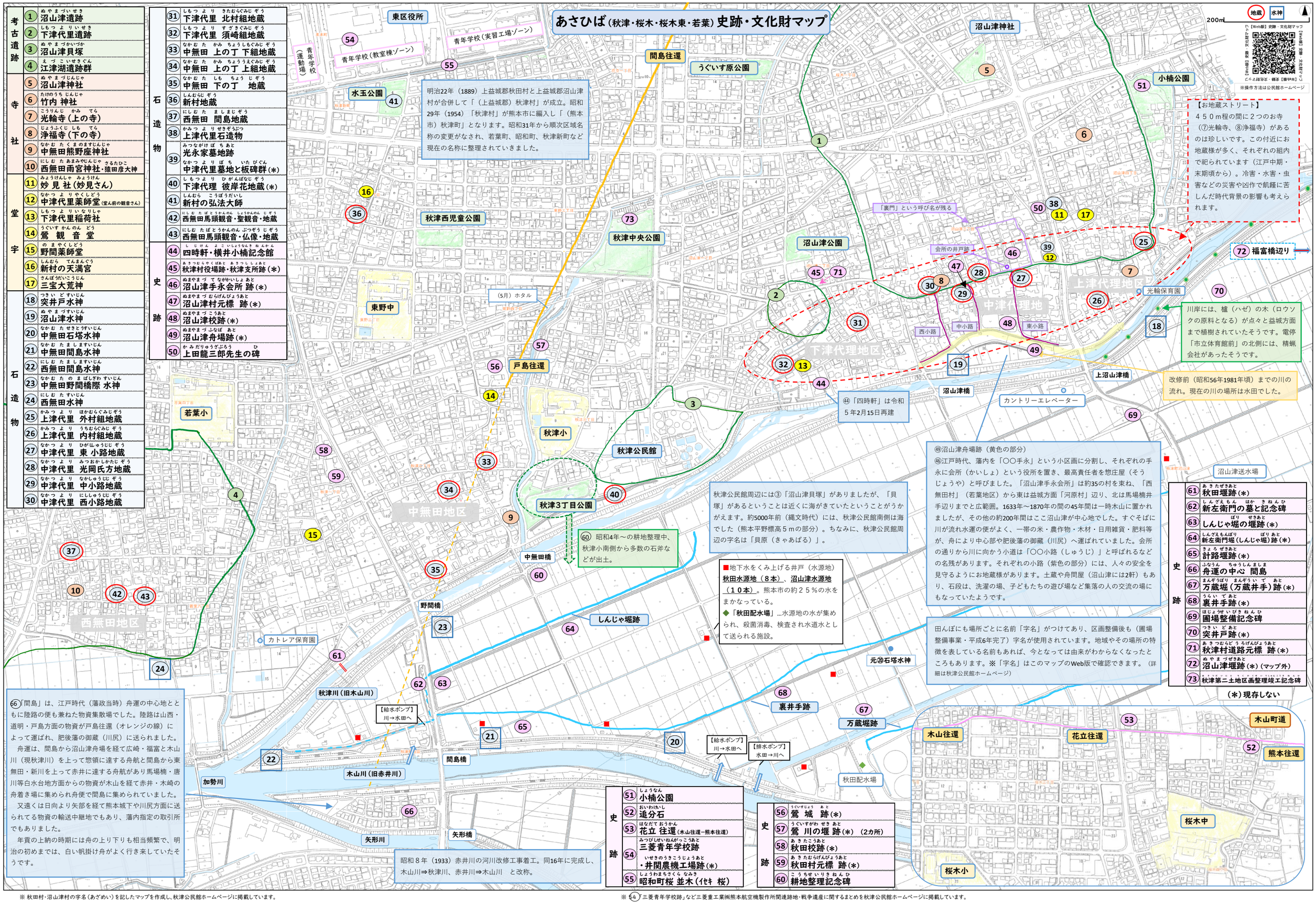
あさひば（秋津・桜木・桜木東・若葉）史跡・文化財マップ



明治22年（1889）上益城郡秋田村と上益城郡沼山津村が合併して「（上益城郡）秋津村」が成立。昭和29年（1954）「秋津村」が熊本市に編入し「（熊本市）秋津町」となります。昭和31年から順次区域名称の変更がなされ、若葉町、昭和町、秋津新町など現在の名称に整理されていきました。

【お地蔵ストリート】
４５０ｍ程の間に２つのお寺（⑦光輪寺、⑧浄福寺）があるのは珍しいです。この付近にお地蔵様が多く、それぞれの組内で祀られています（江戸中期・末期頃から）。冷害・水害・虫害などの災害や凶作で飢饉に苦しんだ時代背景の影響も考えられます。

川岸には、櫨（ハゼ）の木（ロウソクの原料となる）が点々と益城方面まで植樹されていたそうです。電停「市立体育館前」の北側には、精蝋会社があったそうです。

改修前（昭和56年1981年頃）までの川の流れ。現在の川の場所は水田でした。

㊹「四時軒」は令和５年2月15日再建

㊾沼山津舟場跡（黄色の部分）
㊻江戸時代、藩内を「〇〇手永」という小区画に分割し、それぞれの手永に会所（かいしょ）という役所を置き、最高責任者を惣庄屋（そうじょうや）と呼びました。「沼山津手永会所」は約35の村を束ね、「西無田村」（若葉地区）から東は益城方面「河原村」辺り、北は馬場楠井手辺りまでと広範囲。1633年～1870年の間の45年間は一時木山に置かれましたが、その他の約200年間はここ沼山津が中心地でした。すぐそばに川が流れ水運の便がよく、一帯の米・農作物・木材・日用雑貨・肥料等が、舟により中心部や肥後藩の御蔵（川尻）へ運ばれていました。会所の通りから川に向かう小道は「〇〇小路（しゅうじ）」と呼ばれるなどの名残があります。それぞれの小路（紫色の部分）には、人々の安全を見守るようにお地蔵様があります。土蔵や舟問屋（沼山津には2軒）もあり、石段は、洗濯の場、子どもたちの遊び場など集落の人の交流の場にもなっていたようです。

秋津公民館周辺には③「沼山津貝塚」がありましたが、「貝塚」があるということは近くに海がきていたということがうかがえます。約5000年前（縄文時代）には、秋津公民館南側は海でした（熊本平野標高５ｍの部分）。ちなみに、秋津公民館周辺の字名は「貝原（きゃあばる）」。

⑥⓪ 昭和4年～の耕地整理中、秋津小南側から多数の石斧などが出土。

■地下水をくみ上げる井戸（水源地）
秋田水源地（８本）、**沼山津水源地（１０本）**。熊本市の約２５％の水をまかなっている。
◆「**秋田配水場**」…水源地の水が集められ、殺菌消毒、検査され水道水として送られる施設。

田んぼにも場所ごとに名前「字名」がつけてあり、区画整備後も（圃場整備事業・平成6年完了）字名が使用されています。地域やその場所の特徴を表している名前もあれば、今となっては由来がわからなくなったところもあります。※「字名」はこのマップのWeb版で確認できます。（詳細は秋津公民館ホームページ）

㊻「間島」は、江戸時代（藩政当時）舟運の中心地とともに陸路の便も兼ねた物資集散場でした。陸路は山西・道明・戸島方面の物資が戸島往還（オレンジの線）によって運ばれ、肥後藩の御蔵（川尻）に送られました。
舟運は、間島から沼山津舟場を経て広崎・福富と木山川（現秋津川）を上って惣領に達する舟航と間島から東無田・新川を上って赤井に達する舟航があり馬場楠・唐川等白水台地方面からの物資が木山を経て赤井・木崎の舟着き場に集められ舟便で間島に集められていました。
又遠くは日向より矢部を経て熊本城下や川尻方面に送られてる物資の輸送中継地でもあり、藩内指定の取引所でもありました。
年貢の上納の時期には舟の上り下りも相当頻繁で、明治の初めまでは、白い帆掛け舟がよく行き来していたそうです。

昭和８年（1933）赤井川の河川改修工事着工。同16年に完成し、木山川⇒秋津川、赤井川⇒木山川　と改称。

考古遺跡	①	沼山津遺跡
	②	下津代里遺跡
	③	沼山津貝塚
	④	江津湖遺跡群
寺社	⑤	沼山津神社
	⑥	竹内 神社
	⑦	光輪寺（上の寺）
	⑧	浄福寺（下の寺）
	⑨	中無田熊野座神社
	⑩	西無田雨宮神社・猿田彦大神
堂宇	⑪	妙 見 社（妙見さん）
	⑫	中津代里薬師堂（堂ん前の観音さん）
	⑬	下津代里稲荷社
	⑭	鶯　観　音　堂
	⑮	野間薬師堂
	⑯	新村の天満宮
	⑰	三宝大荒神
石造物	⑱	突井戸水神
	⑲	沼山津水神
	⑳	中無田石塔水神
	㉑	中無田間島水神
	㉒	西無田間島水神
	㉓	中無田野間橋際 水神
	㉔	西無田水神
	㉕	上津代里　外村組地蔵
	㉖	上津代里　内村組地蔵
	㉗	中津代里　東 小路地蔵
	㉘	中津代里　光岡氏方地蔵
	㉙	中津代里　中小路地蔵
	㉚	中津代里　西小路地蔵
石造物	㉛	下津代里　北村組地蔵
	㉜	下津代里　須崎組地蔵
	㉝	中無田　上の丁 下組地蔵
	㉞	中無田　上の丁 上組地蔵
	㉟	中無田　下の丁　地蔵
	㊱	新村地蔵
	㊲	西無田　間島地蔵
	㊳	上津代里石造物
	㊴	光永家墓地跡 中津代里墓地と板碑群（＊）
	㊵	下津代理　彼岸花地蔵（＊）
	㊶	新村の弘法大師
	㊷	西無田馬頭観音・聖観音・地蔵
	㊸	西無田馬頭観音・仏像・地蔵
史跡	㊹	四時軒・横井小楠記念館
	㊺	秋津村役場跡・秋津支所跡（＊）
	㊻	沼山津手永会所 跡（＊）
	㊼	沼山津村元標　跡（＊）
	㊽	沼山津校跡（＊）
	㊾	沼山津舟場跡（＊）
	㊿	上田龍三郎先生の碑

史跡	(51)	小楠公園
	(52)	追分石
	(53)	花立 往還（木山往還－熊本往還）
	(54)	三菱青年学校跡 ・井関農機工場跡（＊）
	(55)	昭和町桜 並木（イセキ　桜）

史跡	(56)	鶯　城　跡（＊）
	(57)	鶯　川の堰 跡（＊）（2カ所）
	(58)	秋田校跡（＊）
	(59)	秋田村元標　跡（＊）
	(60)	耕地整理記念碑

史跡	(61)	秋田堰跡（＊）
	(62)	新左衛門の墓と記念碑
	(63)	しんじゃ堀の堰跡（＊）
	(64)	新左衛門堀（しんじゃ堀）跡（＊）
	(65)	計路堰跡（＊）
	(66)	舟運の中心　間島
	(67)	万蔵堀（万蔵井手）跡（＊）
	(68)	裏井手跡（＊）
	(69)	圃場整備記念碑
	(70)	突井戸跡（＊）
	(71)	秋津村道路元標　跡（＊）
	(72)	沼山津堰跡（＊）（マップ外）
	(73)	秋津第二土地区画整理竣工記念碑

（＊）現存しない

※ 秋田村・沼山津村の字名（あざめい）を記したマップを作成し、秋津公民館ホームページに掲載しています。

※ (54) 三菱青年学校跡」など三菱重工業㈱熊本航空機製作所関連跡地・戦争遺産に関するまとめを秋津公民館ホームページに掲載しています。